

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【20243No.333】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：リヒャルト・ワーグナー

曲名：《タンホイザー》序曲とヴェーヌスベルクの音楽（ウィーン版）

演奏：キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55043>

2024年1月1日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ペトレンコとカウフマンの共演によるジルベスター・コンサート 2023

2023年の年末は、首席指揮者キリル・ペトレンコとテノールのヨナス・カウフマンにより大なるドラマが展開されます。仇撃ち、近親相姦、そして愛という至高の幸福が描かれたワーグナーの楽劇《ワルキューレ》。その第1幕が上演され、カウフマンは得意とする役どころのジークムントを、情熱的かつ闘争的に歌い上げます。コンサートの幕開けを飾るのは《タンホイザー》からの抜粋で、その荘厳な物語を凝縮した音楽をお聴きいただけます。

この他に下記が演奏されました。

リヒャルト・ワーグナー 楽劇《ワルキューレ》第1幕（演奏会形式上演）

ヴィダ・ミクネビキューテ(ソプラノ/ジークリンデ)

ヨナス・カウフマン(テノール/ジークムント)

ゲオルク・ツェッペンフェルト(バス/フンディング)

これまでと同様、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

1月1日16時からの時間差再配信を一部試聴し、さらにアーカイブ配信を試聴しました。

《タンホイザー》序曲は、ずっと以前にヤンソンス指揮バイエルン放送管弦楽団の演奏を聴いて、その迫力に驚かされたことを記憶していますが、時間差再配信の試聴では、配信でもここまで来たかと思うくらい、真に迫ったオーケストレーションの迫力を感じました。

ワーグナーの楽劇《ワルキューレ》第一幕の演奏会形式の演奏は、再配信は、とびとびに聴きました。ジークムントテノールのカウフマンもジークリンデ役のソプラノのミクネビキューテも、ワーグナー歌手らしく、圧倒的な声量の歌唱が伸び伸びとホール内に響き渡ります。

さらに《ワルキューレ》第一幕のアーカイブの配信では、冒頭の低弦の斉奏の分離と迫力なども十分です。

アンコール曲は、ワーグナーの《ローエングリン》第3幕への前奏曲でしたが、これもヤンソンス指揮バイエルン放送管弦楽団の演奏を聴いており、その迫力の印象を思い出しました。



以上のようにLAN アクキュライザーと Crstal EpL の効果でベルリンフィルデジタルコンサートホールのワーグナーの演奏の迫力が達成されていました。

以上